

令和7年度 美原防災スポーツセンター(仮称)建設 電気設備工事

---

## I 工事概要

### 1 工事場所

伊那市美原7867番地3ほか

### 2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
屋内スポーツ練習場	S	1	2,752.77	(15)	

### 3 工事種目

(○印のついたものを適用する。)

工事種目	項目	建物別及び屋外
電灯設備		○
動力設備	幹線、分岐	○
電熱設備		
雷保護設備		
受変電設備		
電力貯蔵設備		
静止形電源設備	直流電源装置	
発電設備		
構内通信通信網設備	LAN用配管	○
構内交換設備	電話設備	○
情報表示設備	時計設備	
映像・音響設備		
拡声設備		○
誘導支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備	○
テレビ共同受信設備		○
監視カメラ設備		○
駐車場管制設備		
防犯・入退室管理設備	予備配管	
自動火災報知設備		○
自動閉鎖設備		○
非常警報設備	非常放送装置	
ガス漏れ警報設備		
中央監視制御設備		
構内配電線路		○
構内通信線路		○
昇降機設備		

## II 工事仕様

### 1 共通仕様

- 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)(令和7年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工編)(令和7年版)」。以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工編)(令和7年版)」(以下、「標準図」という。)による。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
- 本工事の設計図書に関する疑義は、工事契約前に質疑応答書をもって確かめておくものとする。
- 設計図書に記載なくとも、設備機能上、外観上、構造上当然必要と認められるものは監督員の指示に従い、請負金額内において施工するものとする。
- 軽微な変更に関しても(4)項と同様とする。
- 本工事の設計図書等の優先順位は下記による。
  - 現場説明事項(質疑応答書を含む)
  - 特記仕様書
  - 設計図・設計書
  - 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工編）」
  - 公共規格及びこれに準ずる規格条例等
  - 本工事に使用する機材において、特殊な機材を使用する場合は、その製作場において監督員の立ち会いのものに性能試験検査を行う場合がある。尚試験に要する諸費用は請負の負担とする。
  - 本工事に使用する機材は、メーカーリストを優先し、指定がない場合は、監督員と協議の上、使用する事ができる。
  - 使用する機材は図面を提出し、監督員の承認を受けてから使用するものとする。但し、機材によっては図面が不要の場合もある。(線類、管類等)
  - 本工事に必要な官公庁機関等への手続きは、請負者が行い、その費用は、請負者の負担とする。
  - (1)工事完了引き渡し後に、使用機材の不良又は工事不良により生じたと認められる損害は、工事請負契約約款に従い、請負者の負担により復旧するものとする。
  - (2)請負者は、工事請負契約約款に従い、火災保険やその他の保険をかけること。期間は着工時から完成引き渡し時の翌月末までとする。
  - (3)本工事に必要な電力、水等は請負者の負担とする。(引込費、負担金共)

### 2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項																		
①機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。																		
②機材の品質・性能証明	下表に示す材料・機材等（○印のもの）の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たすものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督員の承認を受ける。 <table> <tbody><tr> <th>材 料 ・ 機 材 名</th> <th>材 料 ・ 機 材 名</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>○ その他、監督員の指示によるもの</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>(一社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材</td> </tr> </tbody></table> <ol style="list-style-type: none"><li>品質及び性能に関する試験データが整備されていること。</li> <li>生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。</li> <li>安定的な供給が可能であること。</li> <li>法冷等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。</li> <li>製造または施工の実績があり、その信頼性があること。</li> <li>販売、保守等の営業体制が整えられていること。</li></ol>	材 料 ・ 機 材 名	材 料 ・ 機 材 名	・	・	・	・	・	○ その他、監督員の指示によるもの	○	(一社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材								
材 料 ・ 機 材 名	材 料 ・ 機 材 名																		
・	・																		
・	・																		
・	○ その他、監督員の指示によるもの																		
○	(一社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材																		
③化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（１）から（５）を満たすものとする。 <ol style="list-style-type: none"><li>合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</li> <li>保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</li> <li>接着剤はフタル酸ジノープテル及びフタル酸ジ−２−エテルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</li> <li>塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</li> <li>上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 <p>なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを使い、原則として規制対象外のものを使用するものとする。</p> <p>また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。</p></li></ol> <table> <tbody><tr> <th>ホルムアルデヒドの放散量</th> <th>該 当 す る 建 築 材 料</th> </tr> <tr> <td></td> <td>①JIS及びJIASの F☆☆☆規格品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③下記表示のあるJAS規格品 <ol style="list-style-type: none"> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤使用</li> <li>接着剤等不使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</li> <li>ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</li> </ol></td> </tr> <tr> <td></td> <td>規制対象外</td> </tr> <tr> <td></td> <td>④JIS及びJIASの F☆☆規格品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑤建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑥旧JISのE○規格品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑦旧JASのE○規格品</td> </tr> </tbody></table>	ホルムアルデヒドの放散量	該 当 す る 建 築 材 料		①JIS及びJIASの F☆☆☆規格品		②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品		③下記表示のあるJAS規格品 <ol style="list-style-type: none"> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤使用</li> <li>接着剤等不使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</li> <li>ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</li> </ol>		規制対象外		④JIS及びJIASの F☆☆規格品		⑤建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品		⑥旧JISのE○規格品		⑦旧JASのE○規格品
ホルムアルデヒドの放散量	該 当 す る 建 築 材 料																		
	①JIS及びJIASの F☆☆☆規格品																		
	②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品																		
	③下記表示のあるJAS規格品 <ol style="list-style-type: none"> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤使用</li> <li>接着剤等不使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</li> <li>ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</li> <li>非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</li> </ol>																		
	規制対象外																		
	④JIS及びJIASの F☆☆規格品																		
	⑤建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品																		
	⑥旧JISのE○規格品																		
	⑦旧JASのE○規格品																		
4 施工条件明示項目	・公共建築工事積算基準の解説(設備工編)の「執務並行改修」																		
⑤電気保安技術者	工事現場の電気工作物（電路、自動扉、自動シャッター、電動機等も含む）の保安業務を行うものとする。																		
⑥電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。																		
⑦実施工程表及び施工計画書	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 <p>(2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員 の承認を受けること。</p>																		
⑧使用材料発注先調書	使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調書を作成し、監督員の承認を受ける。																		
⑨発生材の処理	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。 <ol style="list-style-type: none"><li>引渡しを要するもの ○無 ・有（ ）</li> <li>引渡しを要するもの以外 ○構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。</li> <li>特別管理産業廃棄物 ○無 ・有 (PCB使用機器：関係法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。)</li> <li>再利用又は再資源化を図るもの ○無 ・有（廃蛍光灯 ・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類） ○設けない ・設ける（規程： ）</li></ol> <p>・備品（ ）</p> <p>すべて請負者の負担とする。</p> <p>構内に作ることが ○できる ・できない</p>																		
⑩足場・さん橋類	○別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 <p>・本工事で設置する。 <ul style="list-style-type: none"><li>内部仮設足場等（ ・ 架台足場 ・ 移動式足場 ・ 移動式室内足場 ・ ）</li> <li>外部足場（ ・ A種 [施工箇所に枠組足場を設ける。] ・ B種 [施工箇所に単管足場を設ける。] ・ C種 [仮設ゴンドラを使用する。] ・ D種 [移動式足場を使用する。]</li></ul></p>																		
⑪工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。																		

項 目	特 記 事 項																																																											
⑬工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。																																																											
⑭しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。																																																											
16再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。																																																											
⑮耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」：監修（独）建築研究所」による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し承認を受けるものとする。 <p>(1) 設計用水平地震力</p> <p>機器の重量〔kgf〕に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。</p> <p>なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。</p> <p>設計用標準水平地震度</p> <table> <tbody><tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">○特定の施設</th> <th colspan="2">ー一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">上層階、屋上及び塔屋</td> <td>機 器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中 間 階</td> <td>水槽類（※1）</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>機 器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地下・1階</td> <td>水槽類（※1）</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>機 器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水槽類（※1）</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody></table> <p>（※1）水槽類にはオイルタンク等を含む。</p> <p>◎重要機器の定義は次による。</p> <p>◎受変電設備 ・ 発電設備 ・ 直流電源設備 ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換機 ・ 自動火災報知受信機 ・ 中央監視装置 ・</p> <p>◎上層階の定義は次による。</p> <p>2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。</p> <p>(2) 設計用鉛直地震力</p> <p>設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工編）第1編第2章第12節による。</p> <p>確認試験は、・性能確認試験（ 本 ）・施工後確認試験（ 本）を確認強度□にて行う。電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所の間面から写真撮影し、工事写真として提出する。</p> <p>(1) EM-EEFは紫外線による劣化を抑制する性能を持たせ、「列付付」EM-EEF」と表記されたものを使用する。</p> <p>(2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。</p> <p>埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。</p> <p>長さ1m以上の入線しない電線管には、1、2mm以上のビニル被覆電線を挿入する。下記の露出配管は塗装を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○屋外</li> <li>○屋内（ ）</li></ul> <p>・A種 [山砂の類：水締め、機器による締固め]　○B種 [掘切り土中の良質土：機器による締固め]</p> <p>・C種 [他現場の建設発生土の中の良質土：機器による締固め]</p> <p>・D種 [再生コンクリート砂：水締め、機器による締固め]</p> <p>配管下部は50mm以上、上部は100mm以上、砂を用いて締固めること。</p> <p>・構外搬出処理　○構内の指定場所に敷き均し</p> <p>(1) 地中線路には、ケーブル埋設渠をもうける。　○鉄製　○コンクリート製</p> <p>(2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。</p> <p>(3) 配管理設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上敷設する。</p> <p>(1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。</p> <p>(2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。</p> <p>図面に特記あるもの及び特殊なものを除き　○金属製　・樹脂製</p> <p>ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を塗装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。</p> <p>タンブラスイッチは運用形とする。</p> <p>壁付けコンセント(2P15A)は原則として運用形とする。ただし、2口の場合は複式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。</p> <p>本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。</p> <p>・測定場所：　○各室（測定箇所数 4箇所） ・ 廊下 ・ 階段</p> <p>用 途：　○非常用照明　○一般照明</p> <p>・ 学校施設における室内照度測定（測定教室： 個所、測定黒板面： 個所） ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する。</p> <p>(1)分電盤等の図面ホルダーに、単線絡線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。</p> <p>(2) 端子盤には、線番書・絡線表を備え付ける。</p> <p>長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目</p> <p>&lt;資材&gt; ・ 照明制御システム ・ 変圧器 ・ （ ）</p> <p>&lt;建設機器&gt; ・ 排出ガス対策型建設機器 ・ 低騒音型建設機器</p> <p>工事区分表による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。</p>	設置場所	機器種別	○特定の施設		ー一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	中 間 階	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	地下・1階	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6		水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			○特定の施設		ー一般の施設																																																						
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																							
上層階、屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																							
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																							
中 間 階	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0																																																							
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																							
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																							
地下・1階	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																							
	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																							
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																							
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6																																																							
⑯呼び線																																																												
⑰金属製電線管の塗装																																																												
⑱埋め戻し土																																																												
⑳建設発生土の処理																																																												
㉑ケーブル埋設渠																																																												
㉒ブルボックス																																																												
㉓フラッシュプレート																																																												
㉔プレートの用途表示																																																												
㉕配線器具																																																												
㉖機器への接続																																																												
㉗照度測定																																																												
㉘盤類																																																												
㉙グリーン購入の推進																																																												
㉚他工事又は他工種との取り扱い																																																												
㉛その他及び電子納品																																																												
㉜その他	保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書（共通事項）」による。																																																											
	建設業法（昭和24年法律第100号）第20条の2第2項の規定に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、滞札決定から請負契約を締結するまでに、発注者に対して、その旨を当該事象の状況の把握のための必要な情報と併せて通知すること。																																																											

（別表） しゅん工時提出物 （・に○印のついたものを提出する。）

個 別 提 出 物	一 括 提 出 物
1 完成図	5 機器完成図
○ 原因（A1版 ケース入り）	6 工事写真
・ 隔画（A1版 2つ折り製本 1部）	7 完成写真
○ CADデータ(jww及びpdf形式)	8 工事記録（打合せ簿、工事日誌、協議書）
・	9 機材の試験成績書
2 設計図	10 施工の試験成績書
○ CADデータ	11 社内試験成績書
3 引渡書	12 発生材処理報告書
4 納入品	（廃棄物処理実施書、運搬及び処理の委託契約書の写し、マニフェストの写し、フロー図）
○ 予備品　○ 盤類の鍵	13 納入品一覧表
○ ハンドホールフック、ジャッキ	14 官公署手続、検査書（管理者用正本、写し）
	15 保全に関する資料（取扱い説明書も含む）

### 3 ハンドホール

下記による。（梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。）

ブロックハンドホール（寸法は内法を示す。底部はハンドホール内側底部をいう。）

- ・コンクリート相互間などは、工事キヤンベリ指差票により接着する。
- ・ブロックの仕様は国土交通省仕様基準するものとする。
- ・ハンドホールにノックアウト部分を設けてはならない。
- ・配管貫通部は、原則として根巻きコウト（F=18N/mm以上）とし、差し筋D10タテヨコ#200で補強する。
- ・補強方法については、あらかじめ監督員にﾊﾝﾄﾞｰﾙ製作用を提出して承認を受けて施工する。

・	ハンドホール No.ー	1、500×1、500×1、500D	底部 GLー1、740以上	（アルミ梯子付）
・	ハンドホール No.ー	1、200×1、200×1、500D	底部 GLー1、700以上	（アルミ梯子付）
・	ハンドホール No.ー	1、000×1、000×1、400D	底部 GLー1、600以上	（アルミ梯子付）
・	ハンドホール No.ー	1、000×1、000×1、100D	底部 GLー1、300以上	（アルミ梯子付）
・	ハンドホール No.ー	1、000×1、000× 900D	底部 GLー1、060以上	（アルミ梯子付）
・	ハンドホール No.ー	900× 900×1、100D	底部 GLー1、260以上	（アルミ梯子付）
○	ハンドホール No.ー	900× 900× 900D	底部 GLー1、060以上	（既製足場付）
・	ハンドホール No.ー	600× 600× 680D		（既製足場付）
・	ハンドホール No.ー	450× 450× 680D		※縦載帯等単面の通行の恐れがない場所、収容ケーブルが少ない場所に限る

### 4 接地極

下記による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

・	A 種 接 地	銅板1、5t×900×900	補助接地棒（連結式10φ×1、500）	リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m	埋設極（黄銅製又はステンレス製）
・	B 種 接 地	銅板1、5t×900×900	補助接地棒（連結式10φ×1、500）	リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m	埋設極（黄銅製又はステンレス製）
○	C 種 接 地	銅板1、5t×900×900	補助接地棒（連結式10φ×1、500）	リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m	埋設極（黄銅製又はステンレス製）
○	D 種 接 地	接地棒（10φ×1、500）	リード端子付 打ち込み式埋設極（黄銅製又はステンレス製）		

### 5 機器取付高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

名 称	測 点	取付高(mm)	名 称	測 点	取付高(mm)
共 通	取 引 用 計 器 引 込 開 閉 器 通 報	地上～上端 2,000 床上～上端 1,800 床上～中心 1,500	時 計 ・ 子 時 計 壁 掛 形 スピーカー アッチネーター	壁 掛 形 観 時 計	床上～中心 1,500 （上端1,900以下） （天井高）×0.9 （天井高）×0.9 1,300
電	分 電 盤	床上～中心 1,500 （上端1,900以下）	表 示 電 盤	表 示 電 盤	床上～中心（天井高）×0.9
	タンブラスイッチ	”	壁 付 用 器 具	壁 付 用 器 具	”
	コンセント(一般)	”	プ ー ザ ー	プ ー ザ ー	”
	” (身障者用)	”	押 ボ タ ン	押 ボ タ ン	”
	” (便所等)	”	” (身障者用押鈕)	”	”
灯	ブラケット(一般)	台上～中心 150 床上～中心 2,100 2,500	示 復 帰 用 表 示 灯 復 帰 ボ タ ン	”	900 2,000 1,800
	” (鏡上)	”	イ ン タ ー ホ ン	壁 付 インターホン	床上～中心 1,500
	” (鏡上)	”	タ ン 付 位 置 ボ ッ ク ス	壁 付 位 置 ボ ッ ク ス	”
動 力	手 元 開 閉 器	”	” (一般)	”	300
	” 押ボタン	”	” (和室)	”	150
	”	”	テ レ ビ 高 受 信	機 器 収 容 箱	床上～中心（天井高）×0.9
電 話	室 内 端 子 盤	床上～下端 300	” (一般)	”	300
	(廊下・室内)	”	” (和室)	”	150
	中 間 端 子 盤	床上～中心 1,500	火 災 報 警	受 信 機	床上～操作部 800～1,500
	”	” (天井高)×0.9	副 受 信 機	800～1,500	
	”	”	機 器 収 容 箱	床上～中心 800～1,500	
	”	”	発 信 器	”	800～1,500
	”	”	消 火 栓 表 示 灯	”	（天井高）×0.9

- 定期報告　工事しゅん工後3ヵ月、12ヶ月に点検をして、その結果を書面で担当者あてに報告する。（管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず管理者の立会いを要する。）

<b>株式会社 城取建築設計事務所</b> 〒396-0026 長野県伊那市西町5863番地1/TEL.0265-(72)7271	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 (伊那)M第7Y051号	図面を作成した建築士 一級建築士 大臣登録第344915号 酒 井 優	図面を作成した建築士 凡例 備考
--	---------------------------------------	---	---------------------

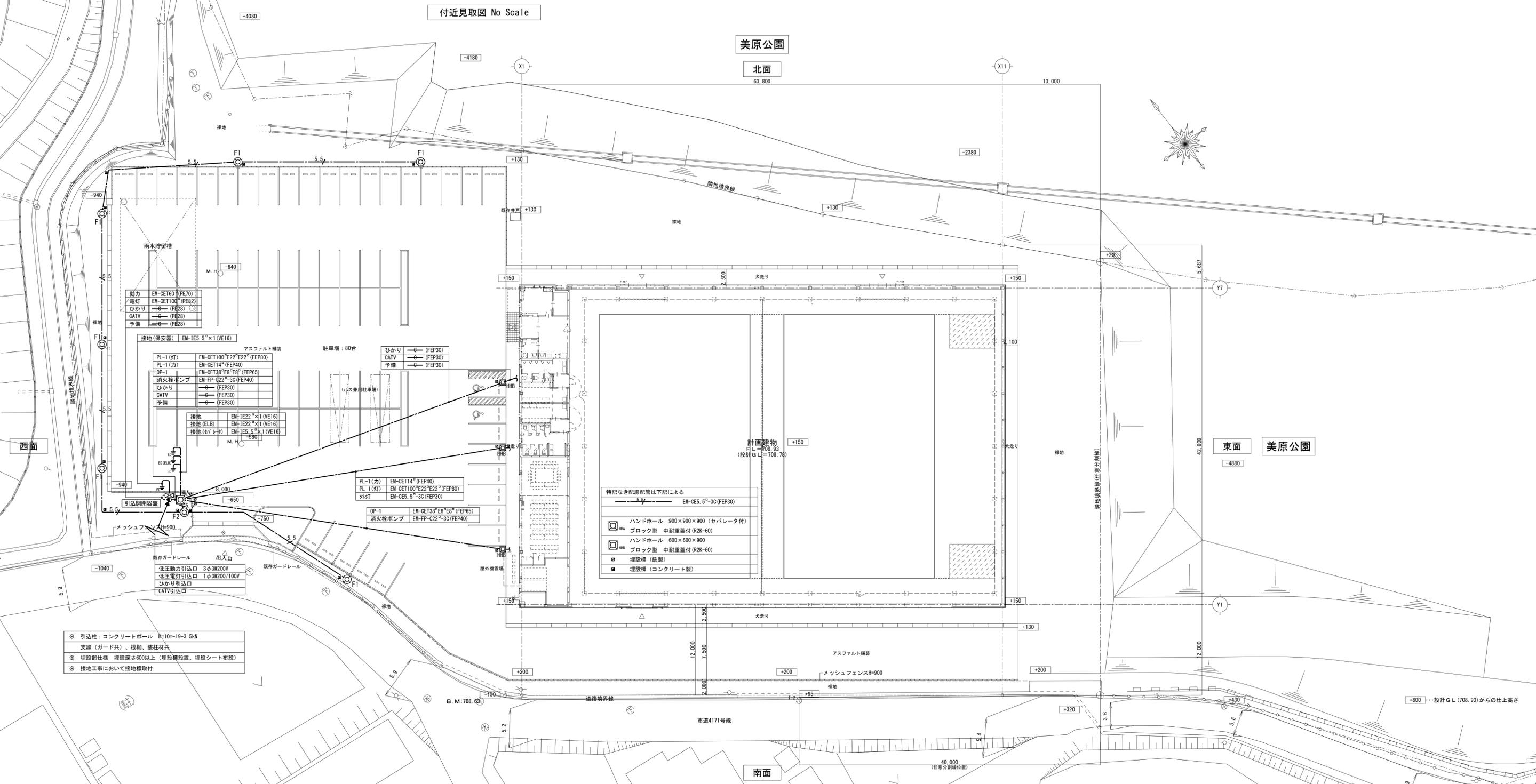
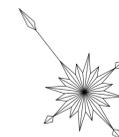
■敷地概要  
 住 所：伊那市美原7867番地3ほか  
 用途地域：用途地域の指定のない区域  
 防火地域：法第22条地域  
 敷地面積：8,853.33㎡  
 景観地区：景観計画地区(田園)



付近見取図 No Scale

美原公園

北面



動力	EM-CET160 <sup>1</sup> (FEP70)
電灯	EM-CET100 <sup>1</sup> (FEP22)
ひかり	EM-CET114 <sup>1</sup> (FEP40)
CATV	EM-CET114 <sup>1</sup> (FEP40)
予備	EM-CET114 <sup>1</sup> (FEP40)

接地(保安器)	EM-IES.5 <sup>1</sup> ×1(VE16)
---------	--------------------------------

PL-1(力)	EM-CET100 <sup>1</sup> E22 <sup>2</sup> E22 <sup>2</sup> (FEP80)
PL-1(力)	EM-CET114 <sup>1</sup> (FEP40)
OP-1	EM-CET38 <sup>1</sup> E8 <sup>1</sup> E8 <sup>1</sup> (FEP65)
消火栓ポンプ	EM-FP-C22 <sup>1</sup> 3C(FEP40)
ひかり	EM-CET114 <sup>1</sup> (FEP40)
CATV	EM-CET114 <sup>1</sup> (FEP40)
予備	EM-CET114 <sup>1</sup> (FEP40)

接地	EM-IE22 <sup>1</sup> ×1(VE16)
接地(ELB)	EM-IE22 <sup>1</sup> ×1(VE16)
接地(ケーブル)	EM-IES.5 <sup>1</sup> ×1(VE16)

ひかり	EM-CET114 <sup>1</sup> (FEP40)
CATV	EM-CET114 <sup>1</sup> (FEP40)
予備	EM-CET114 <sup>1</sup> (FEP40)

PL-1(力)	EM-CET114 <sup>1</sup> (FEP40)
PL-1(力)	EM-CET100 <sup>1</sup> E22 <sup>2</sup> E22 <sup>2</sup> (FEP80)
外灯	EM-CE5.5 <sup>1</sup> 3C(FEP30)

OP-1	EM-CET38 <sup>1</sup> E8 <sup>1</sup> E8 <sup>1</sup> (FEP65)
消火栓ポンプ	EM-FP-C22 <sup>1</sup> 3C(FEP40)

特記なき配線配管は下記による

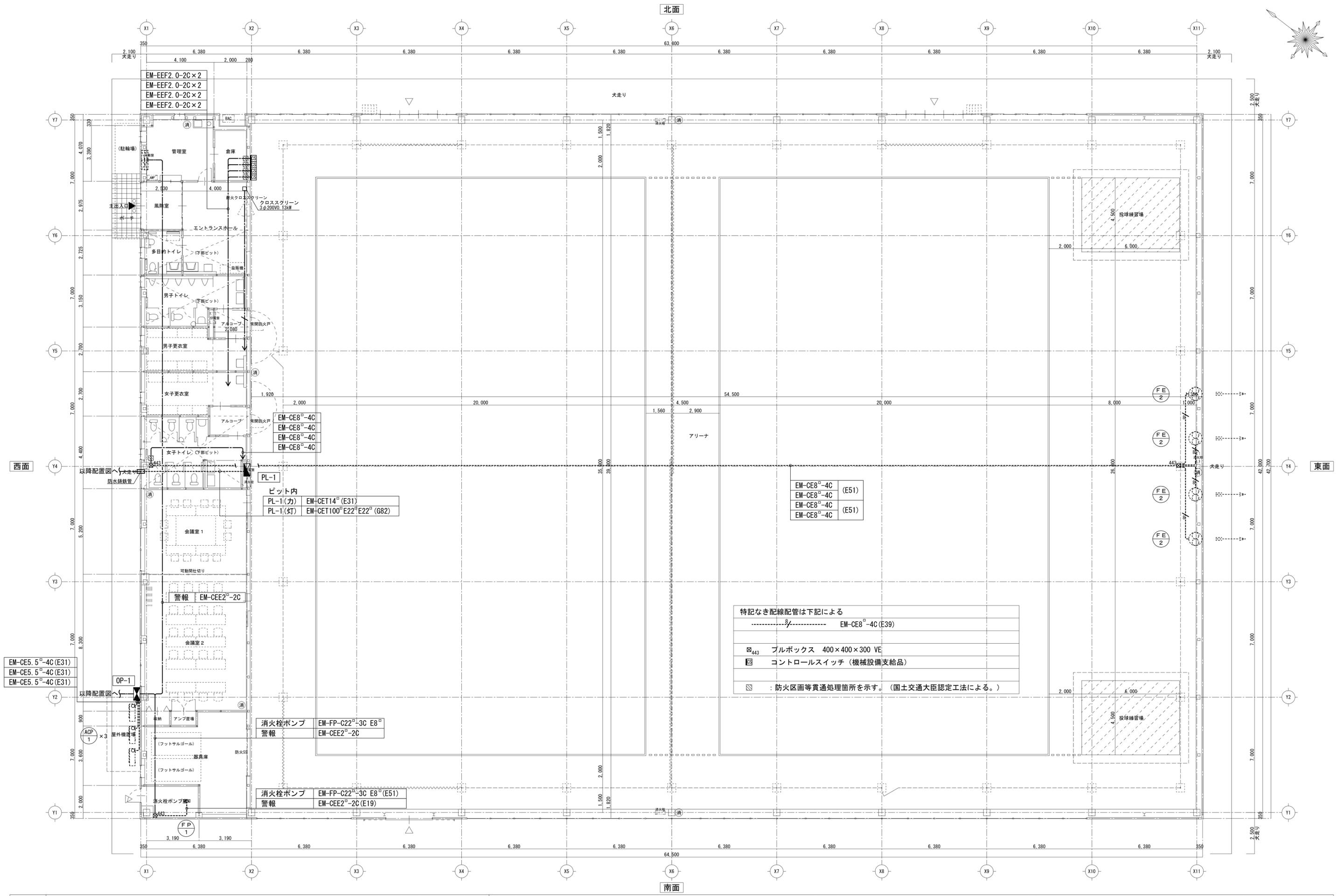
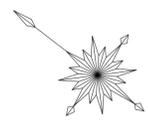
- EM-CE5.5<sup>1</sup>3C(FEP30)
- EM-CE5.5<sup>1</sup>3C(FEP30)
- EM-CE5.5<sup>1</sup>3C(FEP30)

ハンドホール 900×900×900 (セパレータ付)  
 ブロック型 中耐重畳付(R2K-60)  
 ハンドホール 600×600×900  
 ブロック型 中耐重畳付(R2K-60)  
 埋設標(鉄製)  
 埋設標(コンクリート製)

※ 引込柱：コンクリートポール H=10m-19-3.5kN  
 支線（ガード共）、根柢、装柱材共  
 ※ 埋設部仕様 埋設深さ600以上（埋設標設置、埋設シート布設）  
 ※ 接地工事に於いて接地標取付







特記なき配線配管は下記による

..... EM-CE8<sup>□</sup>-4C (E39)

☒<sub>443</sub> ブルボックス 400×400×300 VE

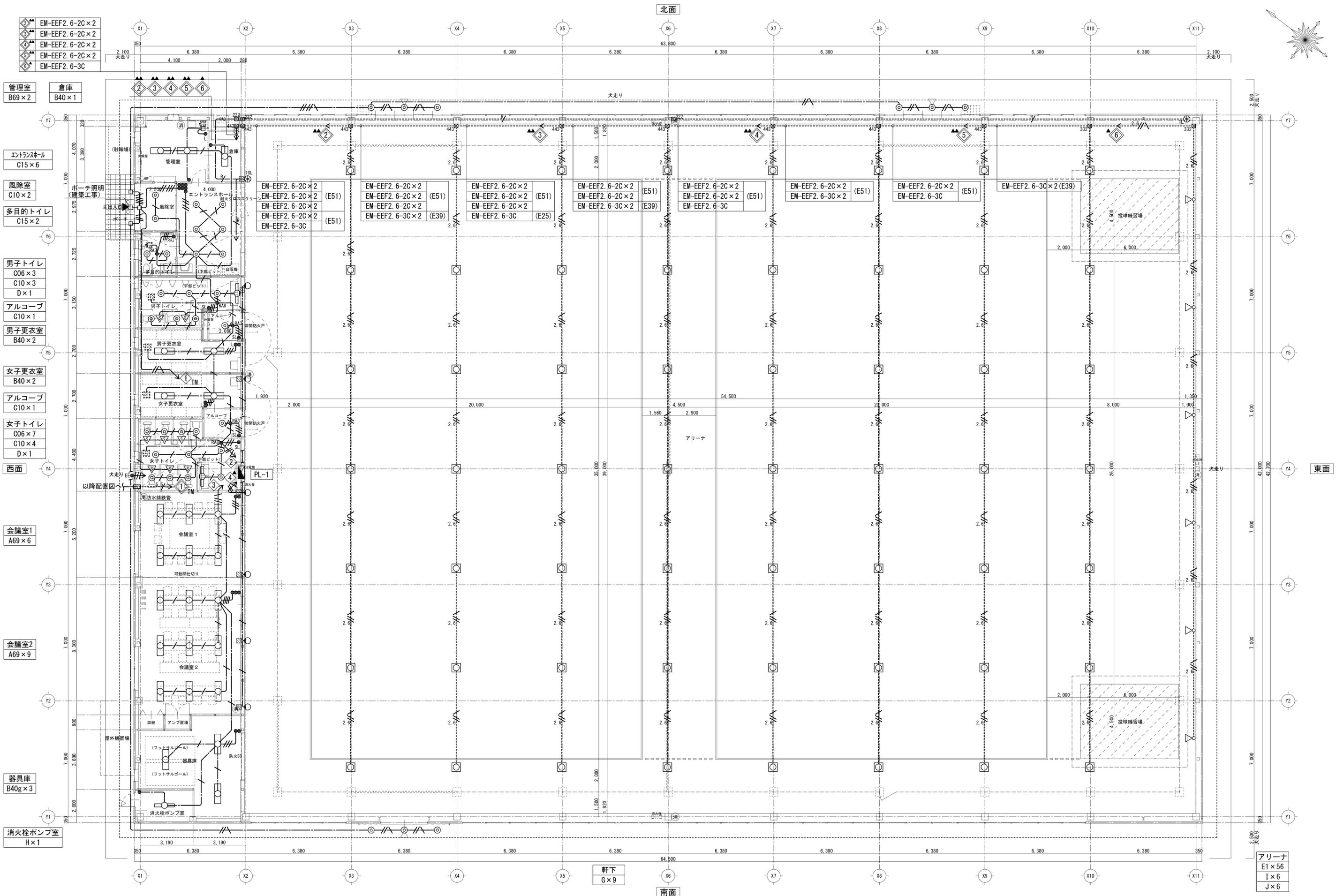
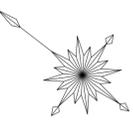
☒ コントロールスイッチ (機械設備支給品)

☒ : 防火区画等貫通処理箇所を示す。(国土交通大臣認定工法による。)

A 6 9	埋込型 40形 下面開放型 W150	B 6 9	直付型 40形 W150	B 4 0	直付型 40形 W150	B 4 0 g	直付型 40形 W150	C 1 5	LEDダウンライト 150形	C 1 0	LEDダウンライト 100形
	LRS6-4-65 LN		LSS9-4-65 LN		LSS9-4-37 LN		LSS9-4-37 LN + FK41534		XND1539WN LE9 相当品		XND1039WN LE9 相当品
C 0 6	LEDダウンライト 60形	D	LEDブラケット 32形Hf蛍光灯1灯器具相当	E 1	高天井用照明器具 マルチハロゲン灯1000形器具相当	F 1	投光器 水銀灯100形相当 (ワイド配光)	F 2	投光器 水銀灯100形相当 (広角タイプ配光)	G	LEDダウンライト 防湿型・防雨型 100形電球1灯器具相当
	LR51-05 LN		LGB81770 LE1 相当品		LSR2W-400 LX + NYK00119 60mmピッチ下面 (特注品) NYK00115 60mmピッチ側面 (特注品) 相当品		NYS15071K LE7 + DYDX4066 + DYDX2409 相当品		NYS15041K LE7 + DYDX4066 + DYDX2409 相当品		LRD3100N LE1 相当品
H	直付型 40形 防湿型・防雨型	I	LEDブラケット 60形電球1灯器具相当	J	投光器 水銀灯400形相当	a	LED B級・BL形 避難口誘導灯片面型	b	LED B級・BL形 通路誘導灯片面型	d	LED C級 避難口誘導灯片面型
	LSS1MP/RP-4-46 LN		LGB81700 LE1 相当品		NYS35145K LE9 相当品		SH1-FBF20-BL+FK02561Z		ST1-FBF20-BL+FK02561Z		SH1-FBF20-C

【電灯設備 凡例】

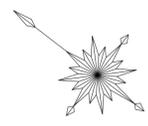
特記なき配線配管は下記による		
-----	EM-EEF1.6-2C	● <sub>RA8</sub> 熱線センサ付自動スイッチ 親機 8A 100V
-----	EM-EEF1.6-3C	● <sub>RA3</sub> 熱線センサ付自動スイッチ 親機 3A 100V
-----	EM-EEF1.6-3C(10アース)	▽ 熱線センサ付自動スイッチ 子機 広角検知形
-----	EM-EEF1.6-2C×2	● <sub>SL</sub> 操作ユニット 1回路用 15A 250V
-----	EM-EEF1.6-2C+3C	● <sub>EE</sub> 自動点滅器
-----	EM-EEF2.0-3C(10アース)	□ アウトレットボックス 102×102×44 VE
-----	EM-EEF2.0-2C+3C(10アース)	☒ <sub>222</sub> ブルボックス 200×200×200
-----	EM-CPEE0.9-2C	☒ <sub>332</sub> ブルボックス 300×300×200
-----	EM-EEF2.6-3C(10アース)(E25)	☒ <sub>443</sub> ブルボックス 400×400×300
-----	EM-CPEE0.9-2C(E19)	☒ : 防火区画等貫通処理箇所を示す。(国土交通大臣認定工法による。)
ケーブル壁内立上げ立下げはPF管にて保護の事。		



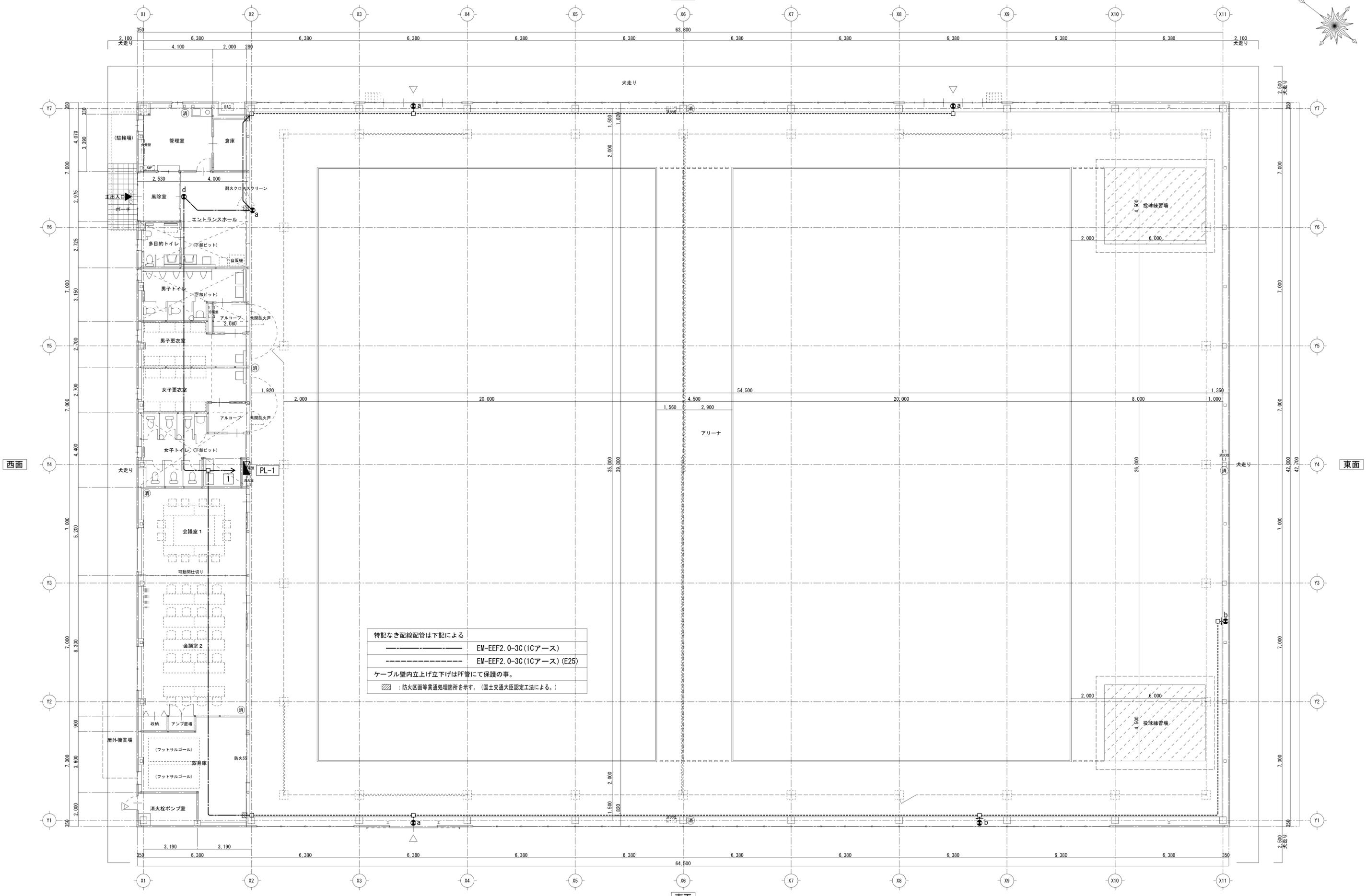
- 管理室 B69×2
- 倉庫 B40×1
- エントランスホール C15×6
- 風除室 C10×2
- 多目的トイレ C15×2
- 男子トイレ C06×3, C10×3, D×1
- アルコール C10×1
- 男子更衣室 B40×2
- 女子更衣室 B40×2
- アルコール C10×1
- 女子トイレ C06×7, C10×4, D×1
- 西面
- 会議室1 A69×6
- 会議室2 A69×9
- 器具庫 B40g×3
- 消火栓ポンプ室 H×1

- アリーナ E1×56, I×6, J×6
- 軒下 G×9

北面



南面



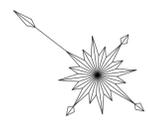
特記なき配線配管は下記による

—— EM-EEF2.0-3C(1Cアース)

----- EM-EEF2.0-3C(1Cアース)(E25)

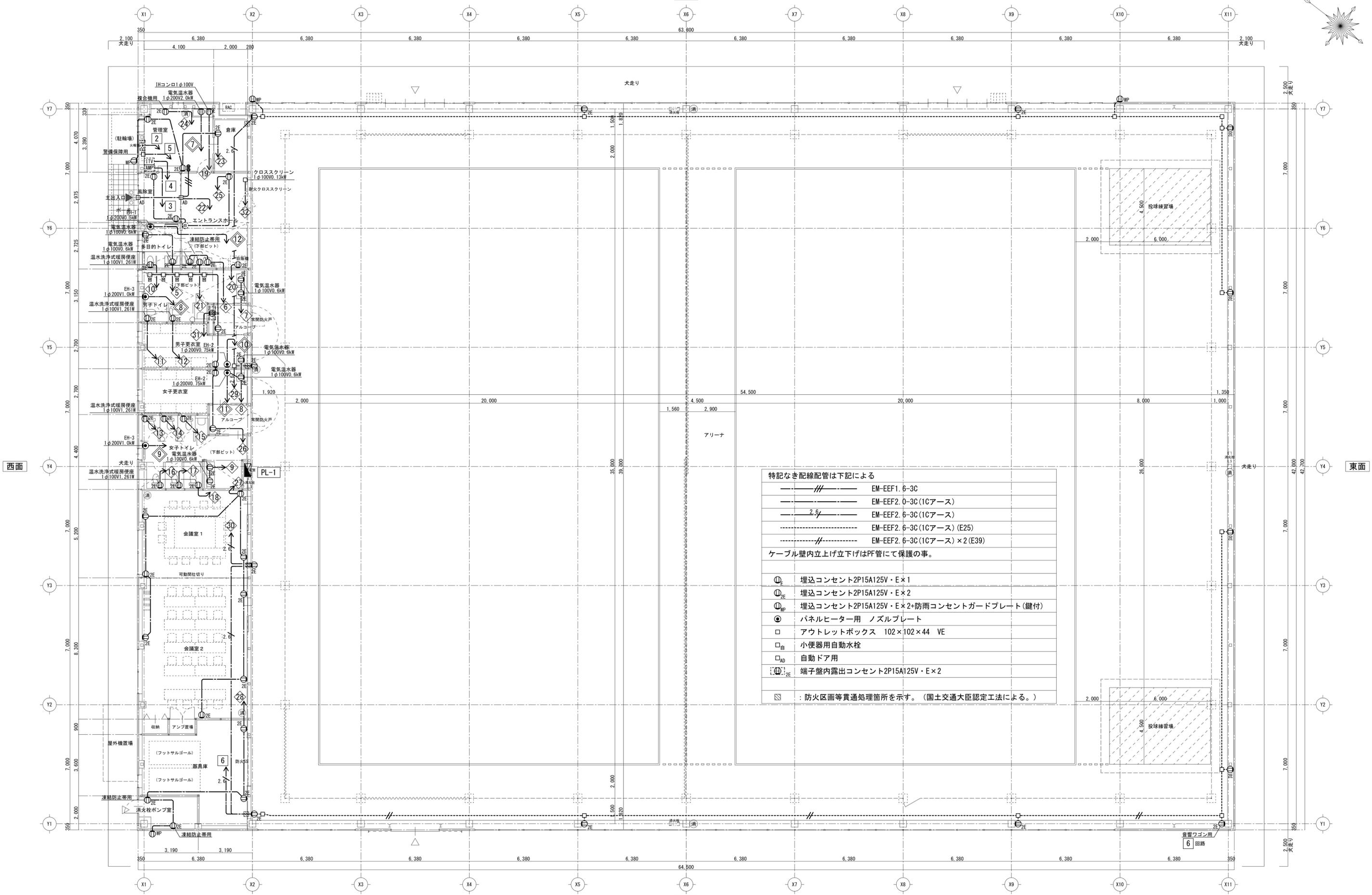
ケーブル壁内立上げ立下げはPF管にて保護の事。

▨ : 防火区画等貫通処理箇所を示す。(国土交通大臣認定工法による。)



北面

南面



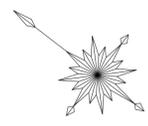
特記なき記線配管は下記による

	EM-EEF1, 6-3C
	EM-EEF2, 0-3C (1Cアース)
	EM-EEF2, 6-3C (1Cアース)
	EM-EEF2, 6-3C (1Cアース) (E25)
	EM-EEF2, 6-3C (1Cアース) x 2 (E39)

ケーブル壁内立上げ立下げはPF管にて保護の事。

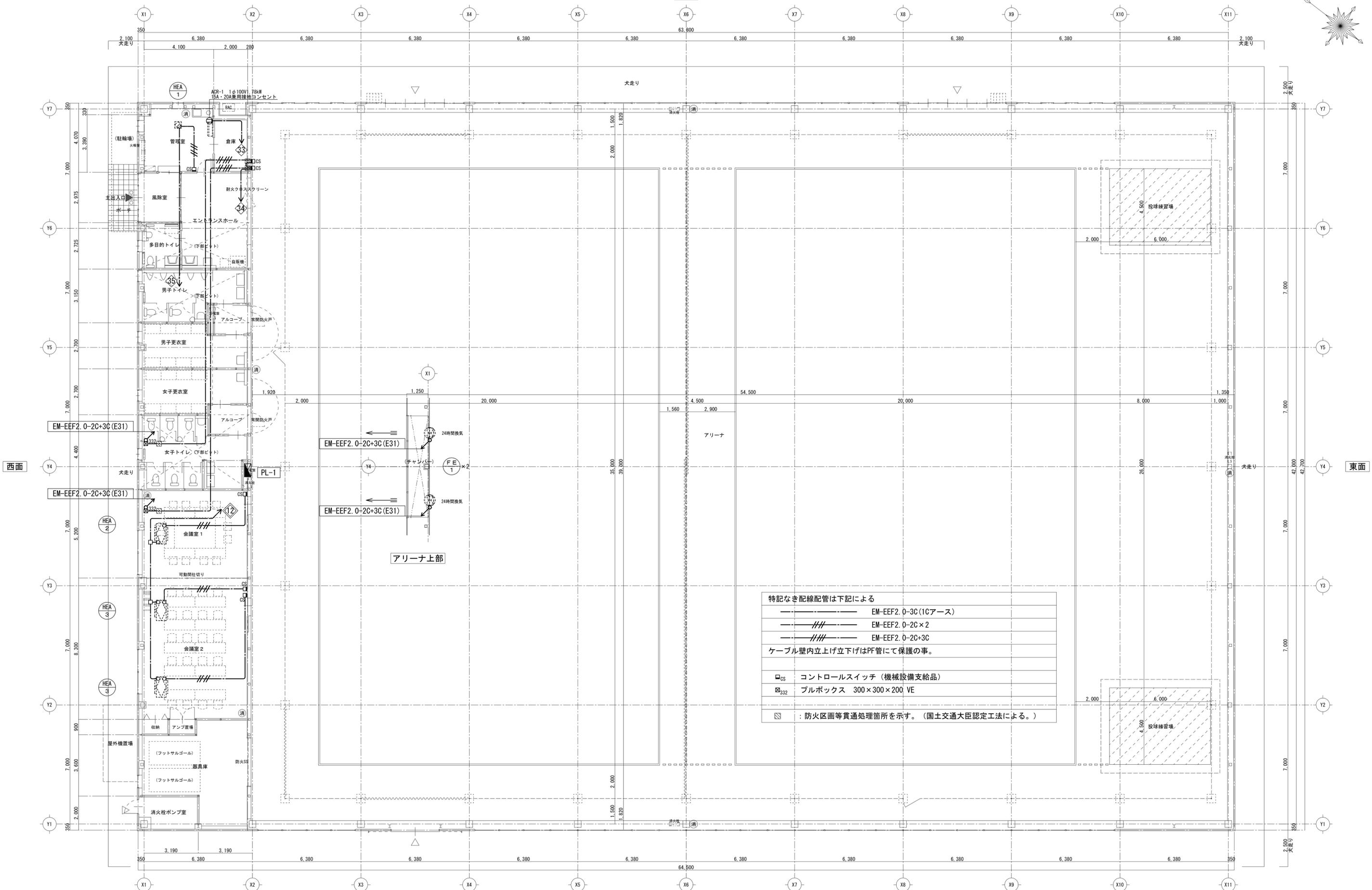
	埋込コンセント 2P15A125V・E x 1
	埋込コンセント 2P15A125V・E x 2
	埋込コンセント 2P15A125V・E x 2 + 防雨コンセントガードプレート (鍵付)
	パネルヒーター用 ノズルプレート
	アウトレットボックス 102 x 102 x 44 VE
	小便器用自動水栓
	自動ドア用
	端子盤内露出コンセント 2P15A125V・E x 2

: 防火区画等貫通処理箇所を示す。(国土交通大臣認定工法による。)



北面

南面



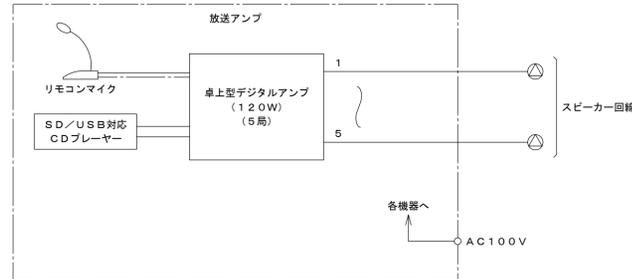
特記なき配線配管は下記による

———	EM-EEF2. 0-3C (10アース)
———	EM-EEF2. 0-2C×2
———	EM-EEF2. 0-2C+3C

ケーブル壁内立上げ立下げはPF管にて保護の事。

CS	コントロールスイッチ (機械設備支給品)
332	ブルボックス 300×300×200 VE

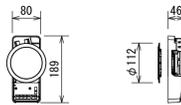
☒ : 防火区画等貫通処理箇所を示す。(国土交通大臣認定工法による。)



凡例 EM-AE1. 2-3C

天井埋込スピーカー

(8cm)

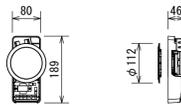


定格入力	3W (3.3kΩ)、1W (10kΩ)
出力音圧レベル	92dB (1W/1m)
周波数特性	150Hz~20kHz (-20dB)
使用スピーカー	8cmコンスピアカー
仕上げ	本体: ABS樹脂
パネル	ネット: アルミパンチング 白色 枠: ABS樹脂 白色

パナソニック: WS-TN830+WS-TP820-W 相当品

天井埋込スピーカー (ATT付)

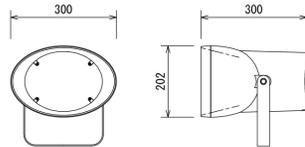
(8cm)



定格入力	3W (3.3kΩ)、1W (10kΩ)
出力音圧レベル	92dB (1W/1m)
周波数特性	150Hz~20kHz (-20dB)
使用スピーカー	8cmコンスピアカー
仕上げ	本体: ABS樹脂
パネル	ネット: アルミパンチング 白色 枠: ABS樹脂 白色
音量調節	4段階

パナソニック: WS-TN835+WS-TP820-W 相当品

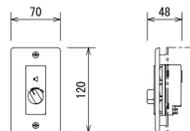
クリアホン



定格入力	15W (670Ω)、10W (1kΩ)、5W (2kΩ)
出力音圧レベル	99dB (1m/1W)
周波数特性	150Hz~15kHz
仕上げ	本体: ABS樹脂、取付金具: ステンレス
保護等級	JIS C 5504準拠、IPX4準拠

パナソニック: WT-7015 相当品

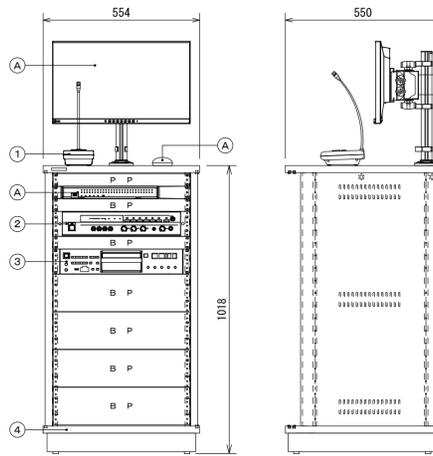
アッテネーター



入力容量	0.5W~6W
入力インピーダンス	20kΩ~1.67kΩ
音量調整	5段階
パネル	新金属
適合ボックス	JIS1個口用スイッチボックス

パナソニック: WZ-VC106/F 相当品

AMP 放送アンプ



〈構成〉

番号	名称	員数	備考
①	リモコンマイク	1	WR-201
②	卓上型デジタルアンプ (120W)	1	WA-HA121+YBSKG035
③	SD/USB対応CDプレーヤー	1	CD-200SB
④	ワゴン本体	1	CWZ-20S-DN
	同上用固定金具	1	CWZ-D1W-ST-RB
(A)	ITV設備機器 (別途)		

BP: プランクパネル、PP: 換気用パネル

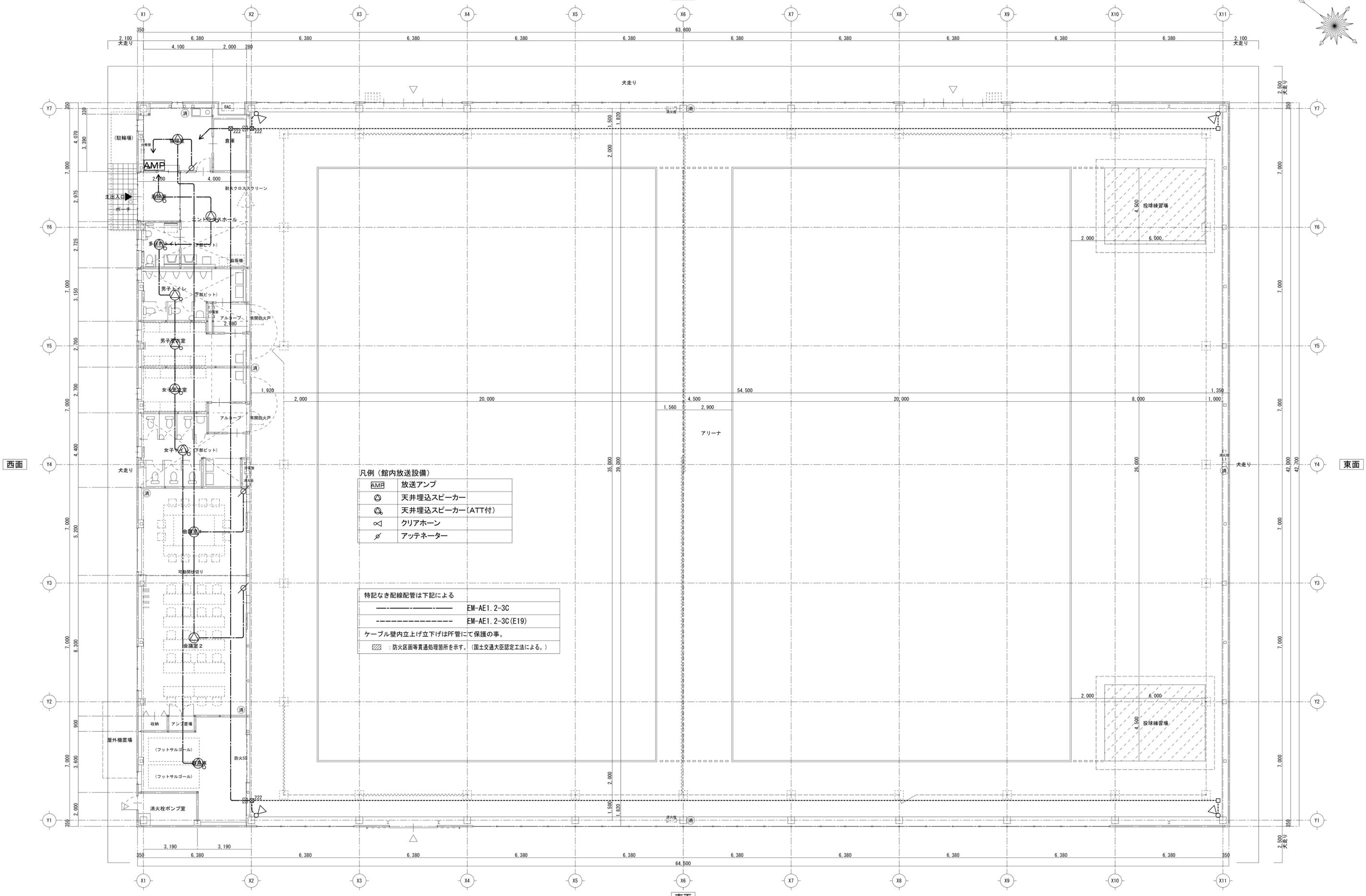
〈定格〉

リモコンマイク	
音声入出力	マイクロホン: 単一指向性ECM内蔵マイク ライン入力: φ3.5mmステレオジャック、不平衡 音声出力: 即結端子台、平衡 コールサイン: 下り2音
制御容量	最大DC30V、最大DC80mA
卓上型デジタルアンプ (120W)	
定格出力	120W
周波数特性	50Hz~20kHz
入力	マイク×3、ライン×2、ページング、チャイム、緊急リモコン
出力	スピーカー (5局+1齊)、ライン、増設機能
機能	優先放送機能、緊急制御、非常放送時遮断回路内蔵
その他	ラックマウント金具共
SD/USB対応CDプレーヤー	
対応メディア	CD、CD-R、CD-RW、USB、SD、SDHC
再生可能フォーマット	CD-DA、MP2、MP3、WAV、AAC、WMA
オーディオ	アナログ出力、デジタル出力
周波数特性	20Hz~20kHz
SN比	90dB以上
ダイナミックレンジ	90dB以上

北面



南面



凡例 (館内放送設備)

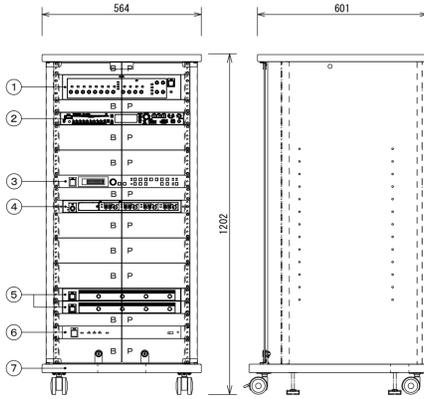
AMP	放送アンプ
⊙	天井埋込スピーカー
⊙	天井埋込スピーカー (ATT付)
∞	クリアホーン
∞	アッテネーター

特記なき配線配管は下記による

—————	EM-AE1. 2-3C
-----	EM-AE1. 2-3C (E19)

ケーブル壁内立上げ下げはPF管にて保護の事。  
 [斜線]: 防火区画等貫通処理箇所を示す。(国土交通大臣認定工法による。)

音響ワゴン



〈構成〉

番号	名称	員数	備考
①	デジタルミキサー	1	WR-DX002
②	メモリー/CDプレーヤー	1	CD-400U
③	デジタルマルチプロセッサ	1	WX-DM304
④	ワイヤレス受信機 (4ch)	1	WX-UR504
⑤	パワーアンプ (120W×4)	2	WP-DD124
⑥	電源制御ユニット	1	WU-L61
⑦	収納ワゴン本体	1	E1A-K24B

B.P.: ブランクパネル

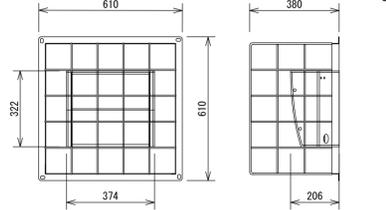
〈定格〉

デジタルミキサー	
周波数特性	20Hz~20kHz
入力	モノラル×8、ステレオ×4
出力	メイン×2、モノラル×2、REC×1
機能	ハウリングサプレッサー×4、EQ×8、VCA×4
	ステレオミュート(オート/マニュアル)、パターン制御(4)
AD/DA変換	24bit
メモリー/CDプレーヤー	
対応メディア	CD、CD-R/RW、SD/SDHCカード、USBメモリー
対応ファイル形式	CD-DA、MP3、WMA、WAV、AAC
入力	アナログアンバランス入力
出力	アナログバランス出力、アナログアンバランス出力
	ヘッドホン出力、チューナー出力
Bluetooth	Bluetoothバージョン4.2 Class2
チューナー	FM・AM
デジタルマルチプロセッサ	
周波数特性	20Hz~20kHz
入出力	3ch入力 4ch出力
ユーザメモリー数	8パターン
	(D-SUB15ピン メイク接続コントロール可能)
外部制御方式	RS-232C (D-SUB 9ピン)
機能	ハウリングサプレッサー、ディレイ、パラメトリックイコライザー
	27バンドイコライザー、オートマイクレベルコントローラー
	コンプレッサー、リミッター、サブウーハー用ローパスフィルター
ワイヤレス受信機 (4波)	
アンテナ入力	50Ω 2系統2回路
チャンネル出力	-20dB 600Ω (不平衡) 2回路
受信周波数	チューナー1台ごと30波中1波設定
周波数特性	50Hz~10kHz
ミキシング出力	-20dBV/-60dBV切換式600Ω (不平衡)
待機時混信低減機能	解除/6dB設定/12dB設定
その他	電池残量表示: 3段階、チャンネルスキャン機能付き

パワーアンプ (120W×4)

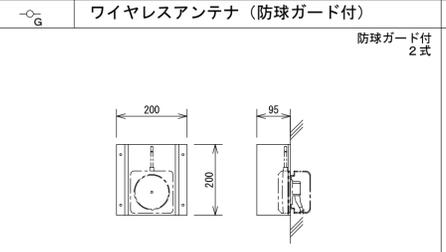
定格出力	120W×4 (4/8Ω)、240W×2 (BTL8Ω、70V系、100V系)
周波数特性	20Hz~20kHz
増幅方式	D級 (Class D) 動作
入力端子 (4ch)	コネクター式端子台ヘッダー
SP端子 (4ch)	ねじ式ターミナル
保護回路	ミューティング、過電流保護、過温度保護、スピーカー保護
備考	プロテクト表示灯装備
電源制御ユニット	
電源	AC100V 50/60Hz
AC電源容量	非連続×2、連続×9 (全コンセント合計最大14.8A以下)

メインスピーカー (防球ガード付)



形式	アレイ方式 2ウェイバスレフ形
許容入力	200W/100W (連続プログラム/RMS)
入力インピーダンス	8Ω
出力音圧レベル	92dB (1W/1m)
周波数特性	80Hz~16kHz
指向角度	水平: 120°、垂直: 40° 音響軸は下方に9°
仕上げ	エンクロージャー: 木製 パネル: パンチングネット

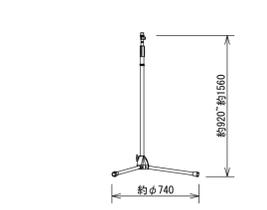
パナソニック: WS-LA208+ブラコー: BLA-208P 相当品



電源	DC12V (受信機・分配器より供給)
入力周波数	806MHz~810MHz帯
出力周波数	260MHz帯
取付方法	壁取付
その他	感度リモート対応
防球ガード	ポリカーボネイト t=3.0 L金具付

パナソニック: WX-4950A+ブラコー: BWA-1K 相当品

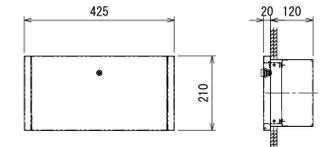
マイクロホンスタンド (床上型)



スタンドねじ	3/8-16UNC
	PF1/2×14 (交換ねじ使用時)

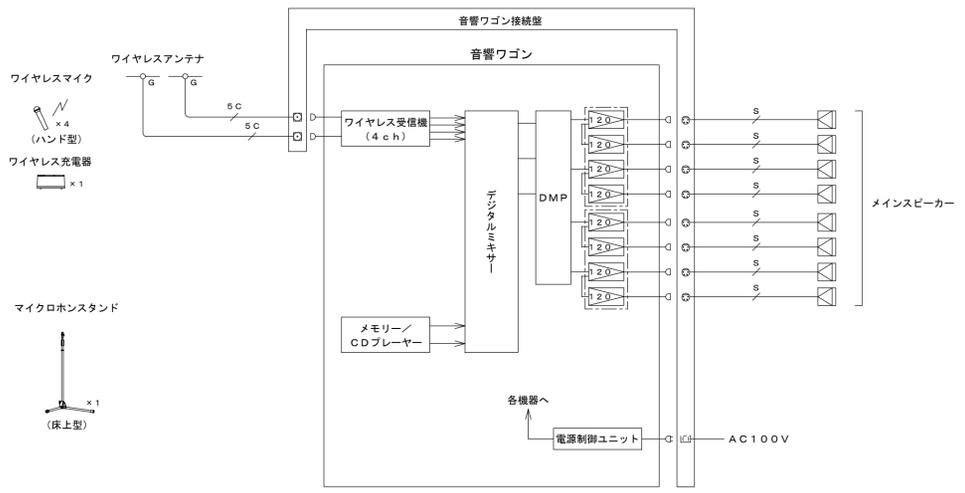
パナソニック: WN-FS140 相当品

音響ワゴン接続盤



使用コネクター	LANコネクタ (Cat6A) ×2
ワイヤレス	XLR4P型×8
スピーカー	ACコンセント×2

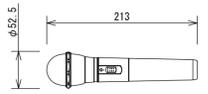
アリーナ音響設備 システム図



凡例

—S—	4S8-EM
—SC—	EM-5C-FB

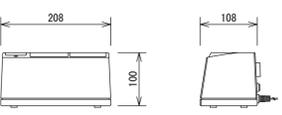
ワイヤレスマイクロホン (ハンド型)



電波形式	F3E、F9W
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
送信周波数	806.125MHz~809.750MHz (0.125MHz間隔30波中1波)
使用マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
周波数特性	100Hz~10kHz
制御信号	電池残量用: 3種類

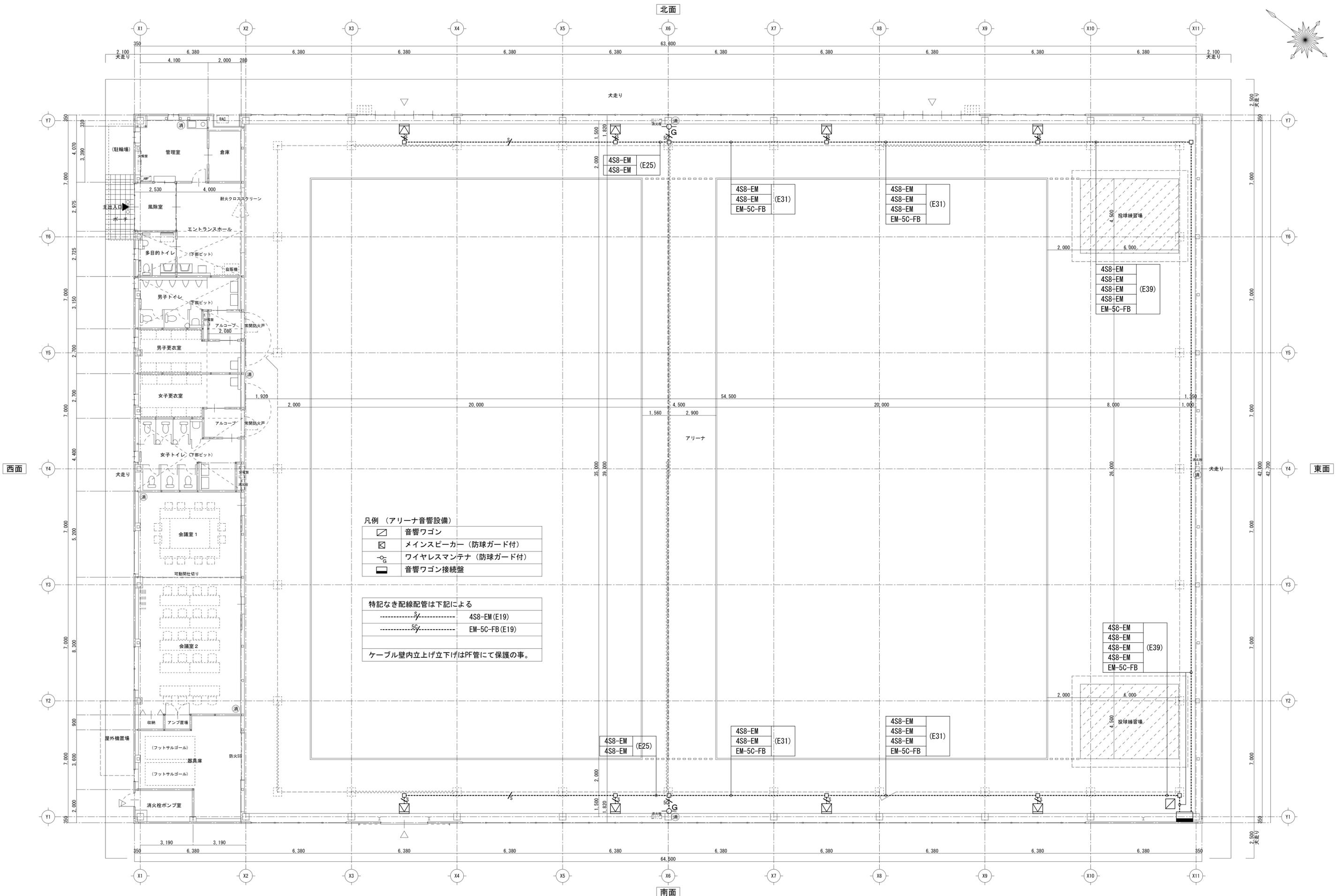
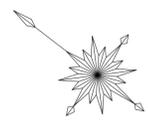
パナソニック: WX-4100B 相当品

ワイヤレス充電器



電源	AC100V 50/60Hz
充電方式	非接触充電方式
充電本数	同時2本

パナソニック: WX-4450 相当品



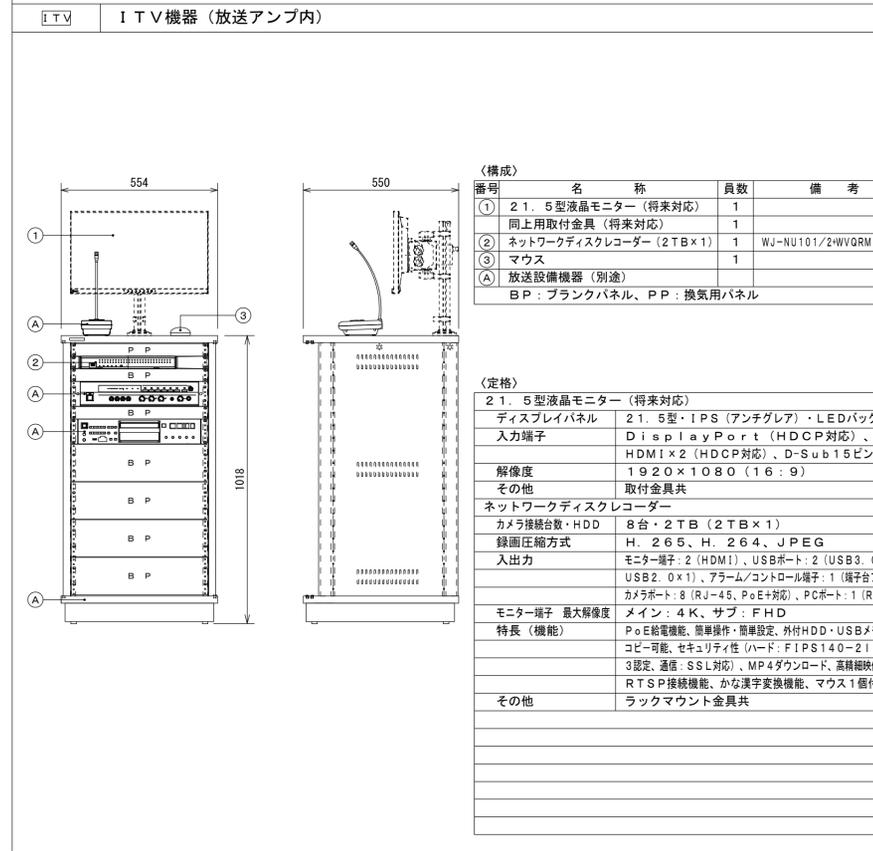
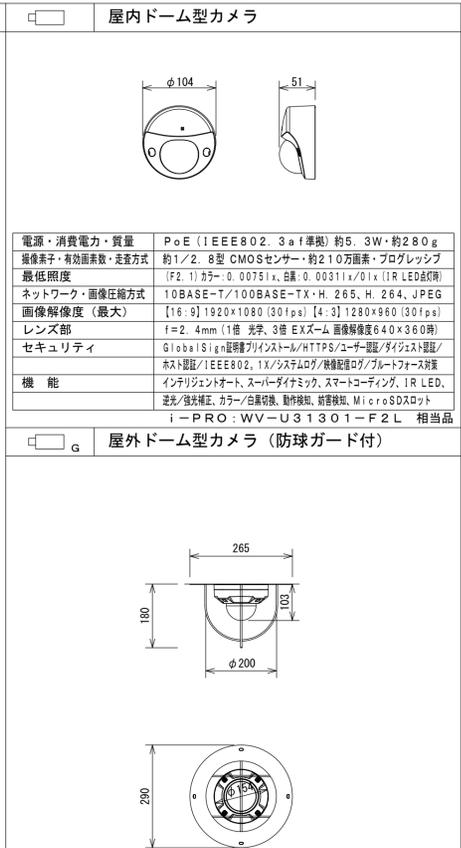
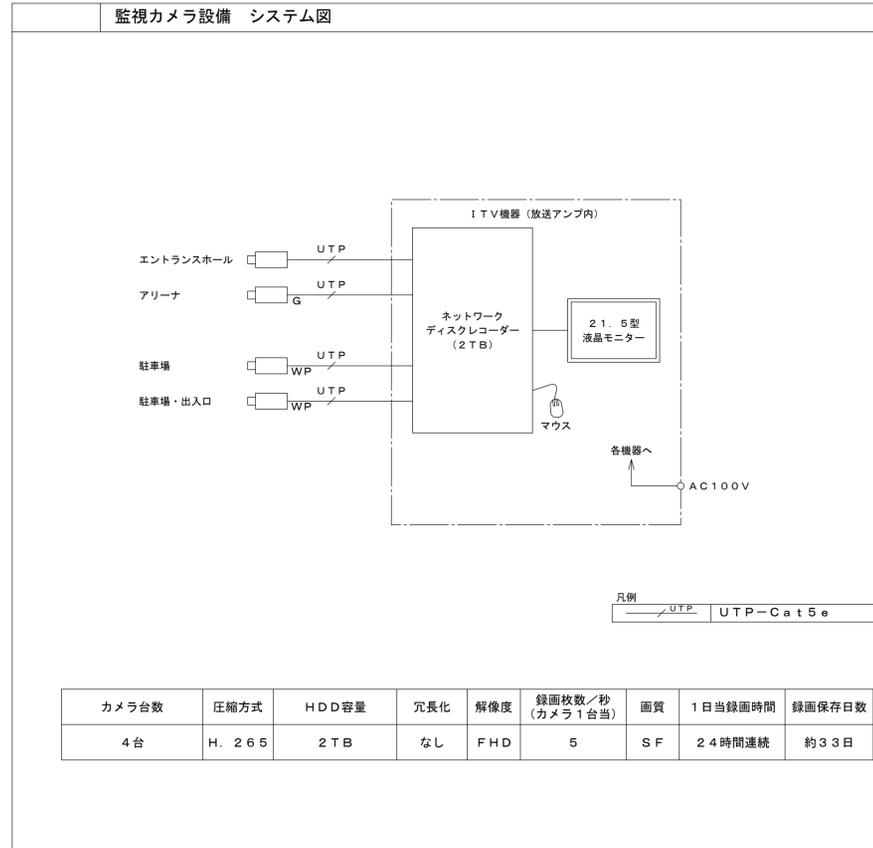
凡例 (アリーナ音響設備)

	音響ワゴン
	メインスピーカー (防球ガード付)
	ワイヤレスマンテナ (防球ガード付)
	音響ワゴン接続盤

特記なき配線配管は下記による

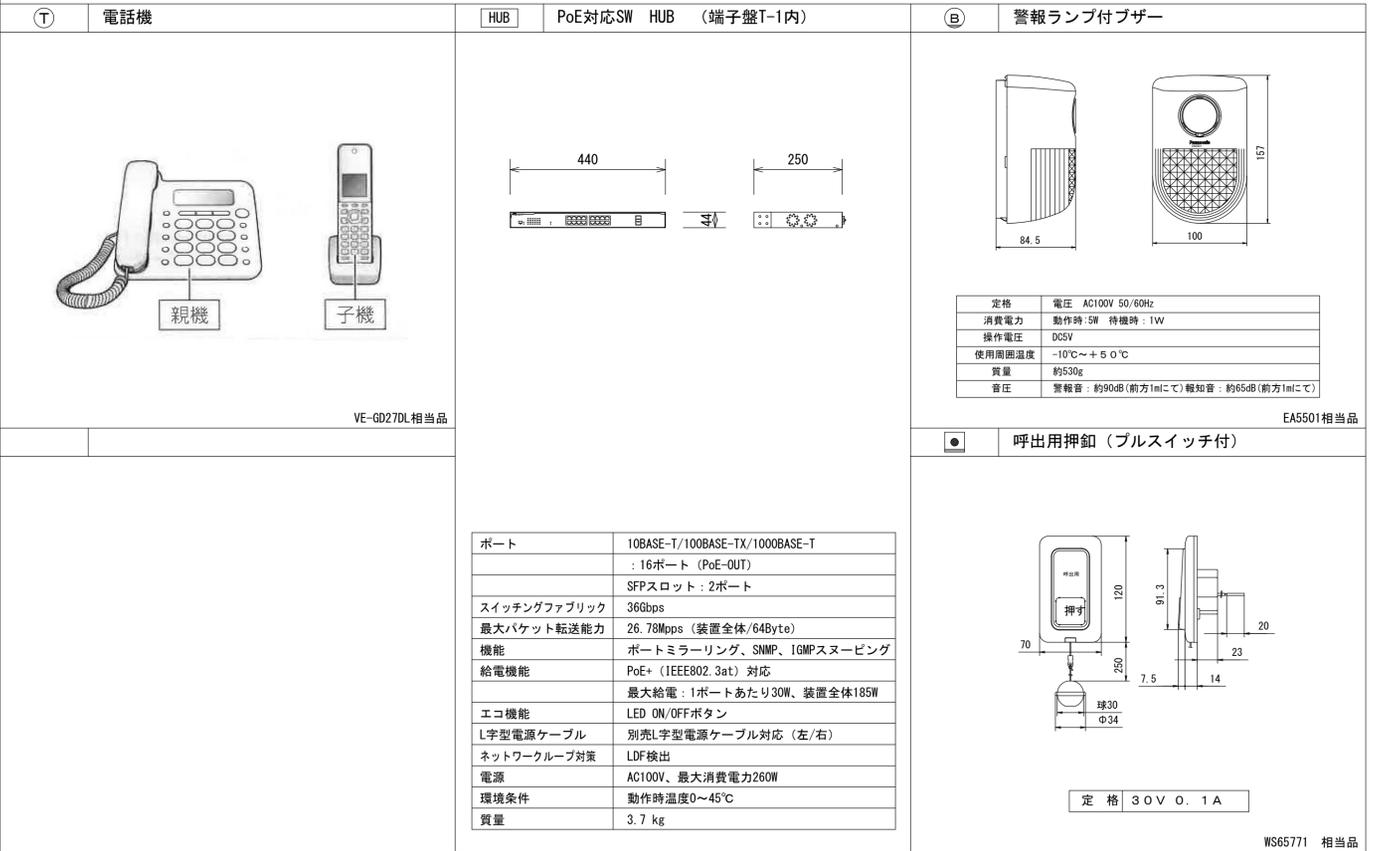
	4S8-EM (E19)
	EM-5C-FB (E19)

ケーブル壁内立上げ立下げはPF管にて保護の事。

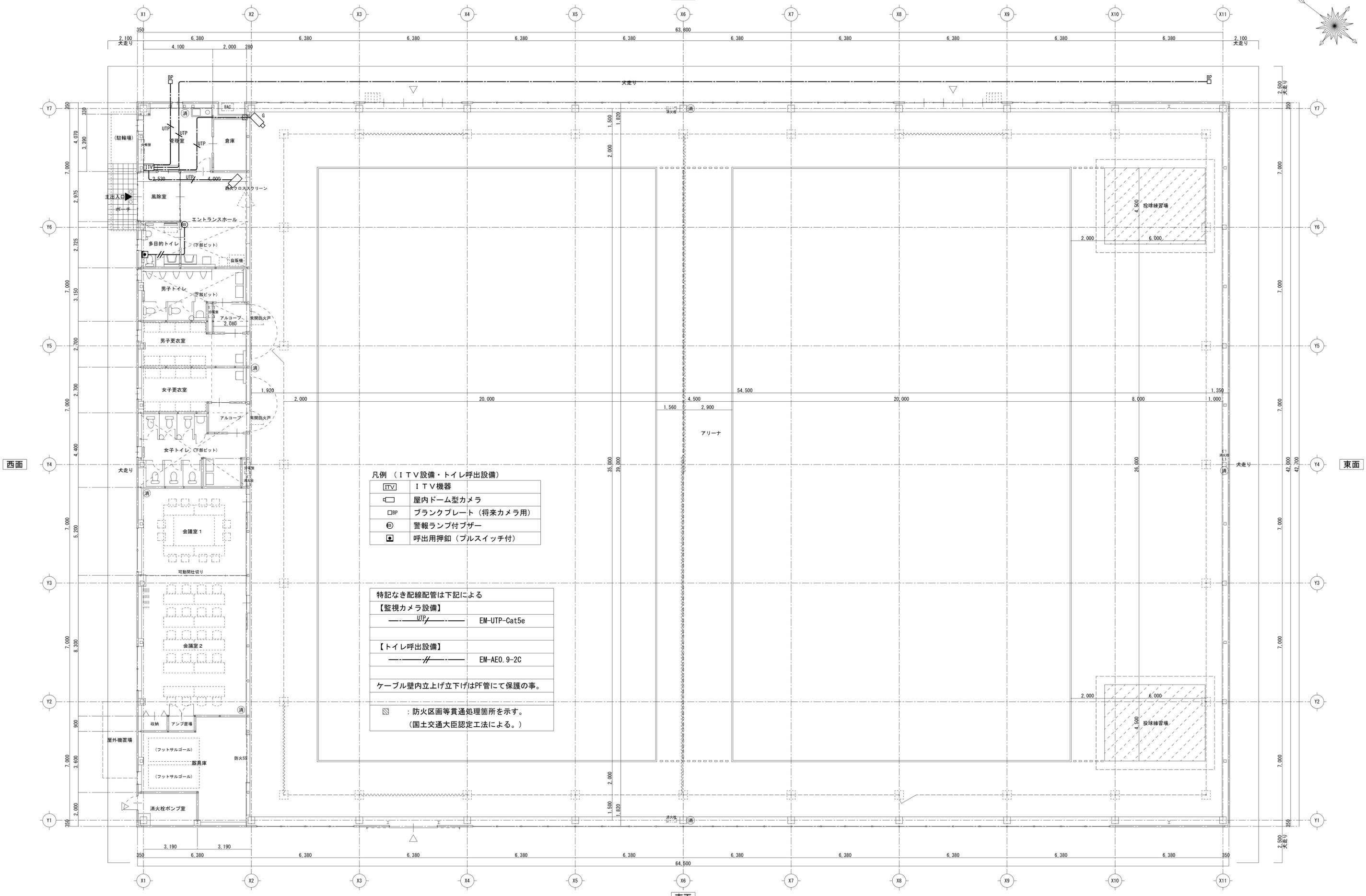
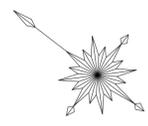


端子盤仕様

盤名称	形式	テレビ	情報	その他
T-1	鋼板製屋内埋込壁掛型	ONUスペース4分配器	ONUスペース ルータスペース スイッチングHUB16ポート	露出ダブルコンセント2P15A125V・E付×2個 各セパレーター



北面



凡例 (ITV設備・トイレ呼出設備)

	ITV機器
	屋内ドーム型カメラ
	blankプレート (将来カメラ用)
	警報ランプ付プザー
	呼出用押釦 (プルスイッチ付)

特記なき配線配管は下記による

【監視カメラ設備】	
	EM-UTP-Cat5e
【トイレ呼出設備】	
	EM-AE0.9-2C

ケーブル壁内立上げ立下げはPF管にて保護の事。

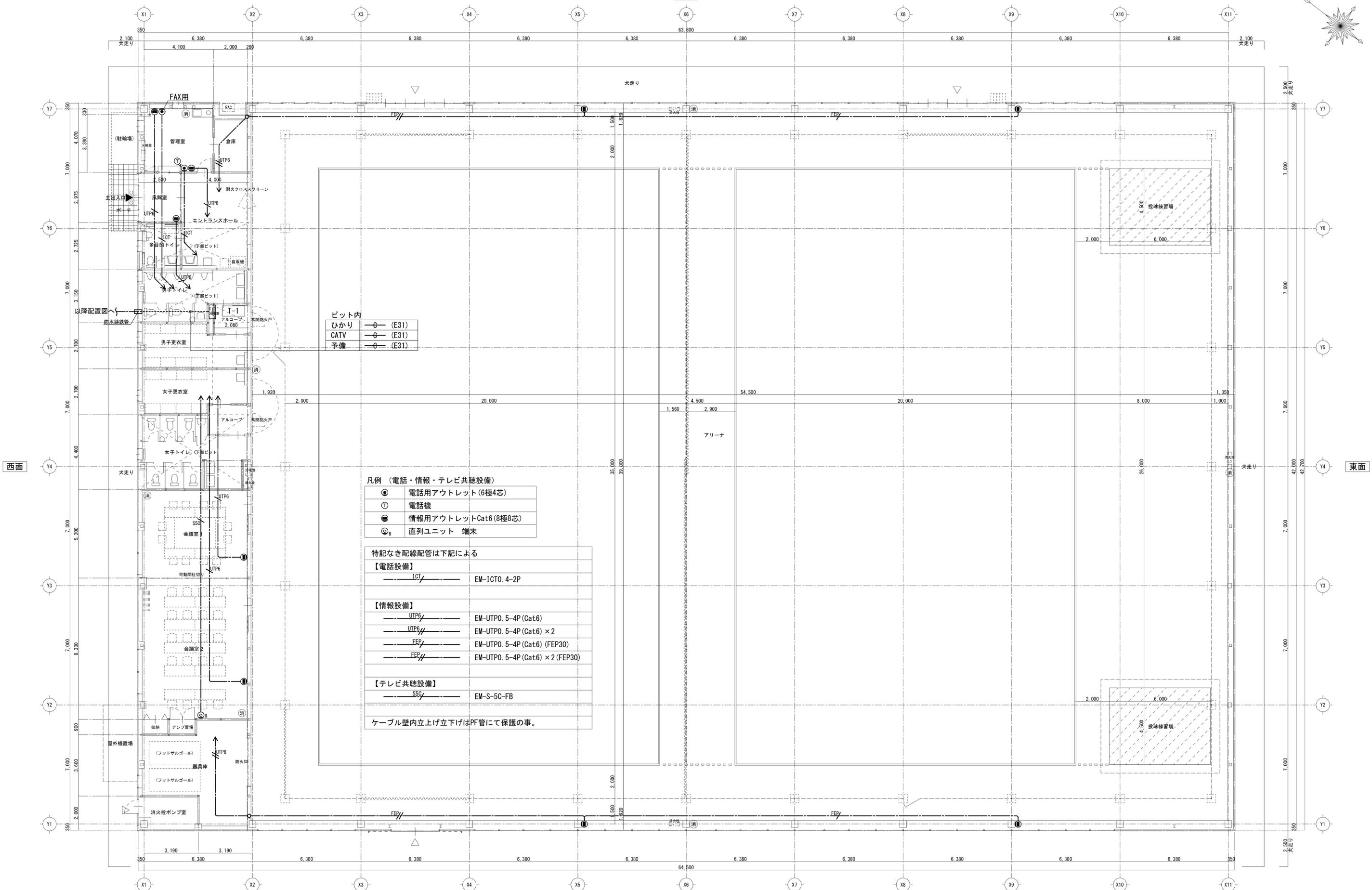
: 防火区画等貫通処理箇所を示す。  
(国土交通大臣認定工法による。)

南面

北面



南面



ビット内

ひかり	○	(E31)
CATV	○	(E31)
予備	○	(E31)

凡例 (電話・情報・テレビ共聴設備)

○	電話用アウトレット(6極4芯)
①	電話機
○	情報用アウトレットCat6(8極8芯)
○R	直列ユニット 端末

特記なき配線配管は下記による

【電話設備】

ICT	EM-ICT0. 4-2P
-----	---------------

【情報設備】

UTP6	EM-UTP0. 5-4P (Cat6)
UTP6//	EM-UTP0. 5-4P (Cat6) × 2
FEP	EM-UTP0. 5-4P (Cat6) (FEP30)
FEP//	EM-UTP0. 5-4P (Cat6) × 2 (FEP30)

【テレビ共聴設備】

SS	EM-S-5C-FB
----	------------

ケーブル壁内立上げ立下げはPF管にて保護の事。

凡 例		備 考
記号	名 称	
	複 合 盤	仕様注記参照
G	機 器 収 容 箱	易操作性1号消火栓内蔵 (D) (E) 収容
(D)	P 型 発 信 機	1線、ガード付、リング型表示灯 (AC24V、LED、点滅式) 付
(E)	火 災 警 報 ベ ル	DC24V、10mA、ダイオード付
Ω	終 端 抵 抗	10KΩ
Ω	終 端 抵 抗	地区ベル用 (10KΩ)
(S)	光 電 式 スポット型 感 知 器	2種、非蓄積型
(S)	光 電 式 スポット型 感 知 器	2種、非蓄積型、ガード付
(S) (C)	光 電 式 スポット型 感 知 器	2種、自動試験・自動感度補正機能付、
(S) (C)	光 電 式 スポット型 感 知 器	2種、自動試験・自動感度補正機能付、小容量用、漏気環境強化ガード付、湯気環境強化
(R)	移 報 器	表示灯電源供給用 40VA (制御盤組込)
(R) (HD)	消 火 栓 ポンプ 制 御 盤	(R)組込 (衛生工事)
(+) (C)	警 戒 区 域 番 号	火災表示用
(+) (C)	警 戒 区 域 番 号	火災表示用 (自動試験機能付を含む)
(+) (C)	警 戒 区 域 番 号	火災表示用、小容量用 (自動試験機能付を含む)
(+) (C)	動 作 区 域 番 号	専用感知器連動用 (自動試験機能付を含む)
(+) (C)	動 作 区 域 番 号	防火戸、防火シャッター用
---	警 戒 区 域 線	
(S)	光 電 式 スポット型 感 知 器	3種、非蓄積型
(S)	光 電 式 スポット型 感 知 器	3種、非蓄積型、ガード付
(S) (C)	光 電 式 スポット型 感 知 器	3種、自動試験・自動感度補正機能付、
(S) (C)	光 電 式 スポット型 感 知 器	ガード付、湯気環境強化
(E) (S)	自 動 閉 鎖 装 置	DC24V、防火戸用
(E) (S)	危 害 防 止 用 運 動 中 継 器	DC24V、DC5A、防火シャッター用、予備電源内蔵 (建築工事)
---	ケ ー ブ ル 配 線	天井いんべい
---	配 管 配 線	いんべい
---	配 管 配 線	露出
---	配 管 配 線	床いんべい (屋上は床上露出)
□	ジャンクション、プルボックス	

《注 記》

- 複合盤仕様
  - P型1級、壁掛型、窓式、主音響 (音声警報)・予備電源内蔵蓄積式、自動断線警報機能付
  - 自動試験機能付
  - 2・4型LCD表示
  - オプションメッセージ表示機能付
  - 感知器情報トレンド表示機能付 (自動試験機能付光電式・定温式感知器のみ)
  - 感知器汚れ量表示機能付 (自動試験機能付光電式感知器のみ)
  - 操作無効機能付
  - カラーユニバーサルデザイン対応
  - 履歴リスト機能 (全履歴20,000件、自動試験履歴30,000件)
- 表示内訳
 

・火災表示	8L	} + 7L (予備) = 20L
・防火戸、シャッター閉鎖表示	4L	
・易操作性1号消火栓開閉併一括表示	1L	
- 専用感知器回線数 4L
- 消火栓ポンプ始動表示 (1L) は補助窓内に表示する。
- 諸表示部 (3L標準装備)
 

・消火栓ポンプ故障表示	(1L)
・消火栓ポンプ呼水槽減水表示	(1L)
- 1回線には自動試験機能付感知器を最大60個接続可能とする。
- 感知器は確認灯付とする。
- 地区ベル鳴動方式は一斉鳴動方式とする。
- 防火防排煙制御方式
 

制御 種別	専用感知器 連動	自火報連動	現場手動	遮 隔	
				始動	復帰
防火戸	○			○	
防火シャッター	○		○	○	

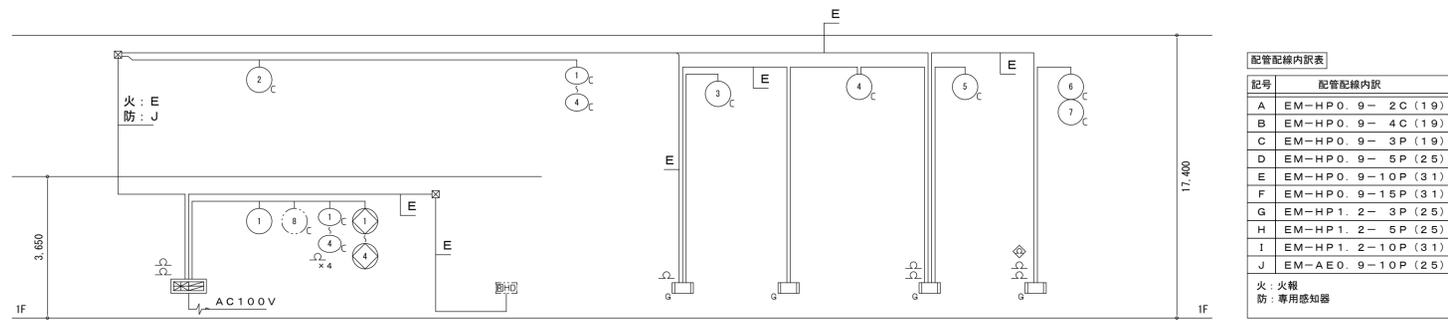
- 危険防止用連動中継器の取り付けは建築 (シャッター) 工事とし、当該中継器への常用電源供給は別途電気工事とする。
- リング型表示灯付発信機の参考外觀図は下記とする。
 

(正面図) (断面図)
- 特記なき配管配線は、下記に示す。
 

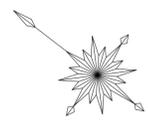
(感知器)	EM-AE0.9-4C (19)
(---)	EM-AE0.9-2C (19)
(E) (S)	EM-HP1.2-3C (19)

AE: 警報用ケーブル  
HP: 耐熱ケーブル

2重天井部分はケーブルころがし配線、直天井部分は露出配管配線とする。

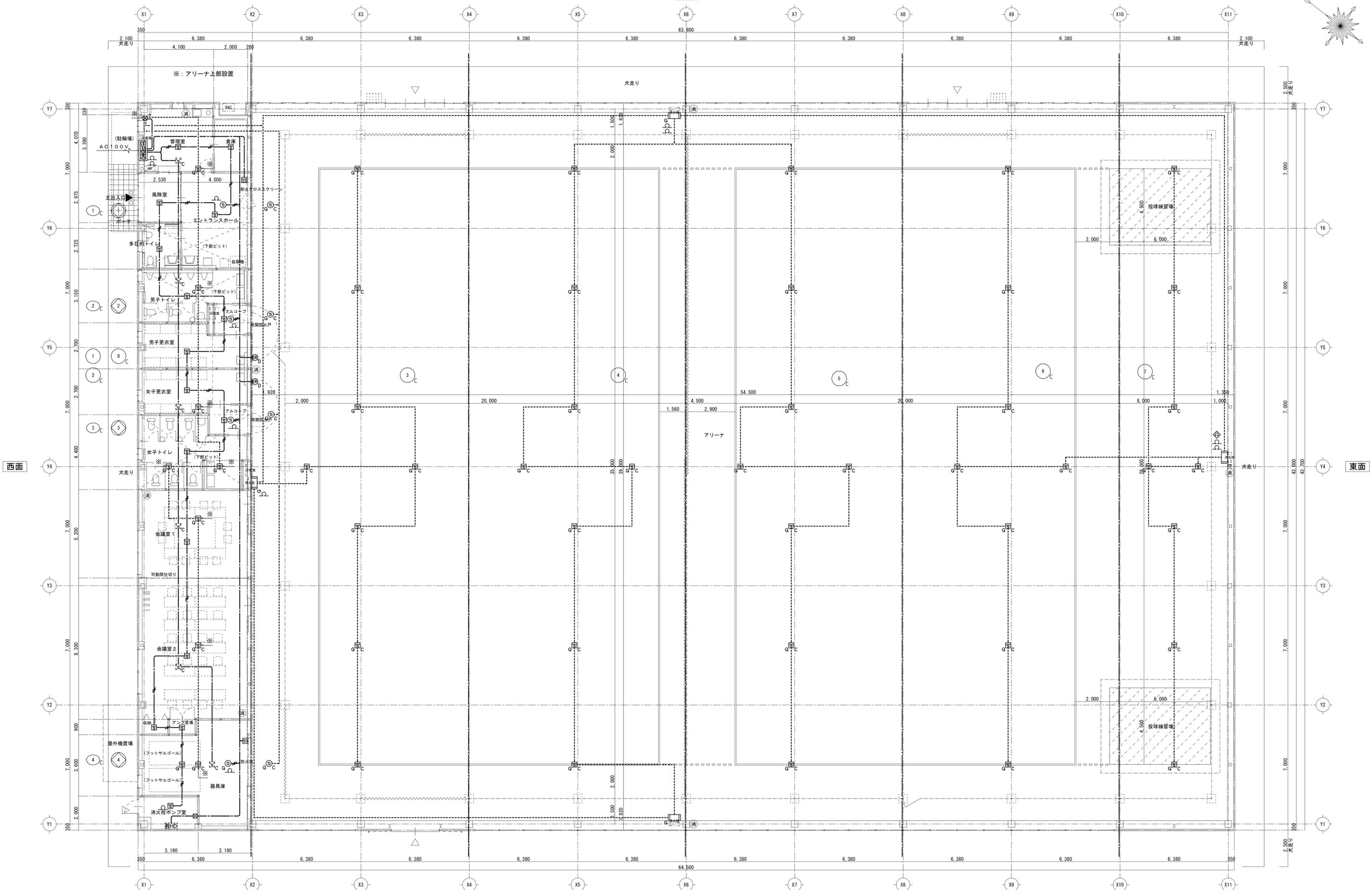


設 備 系 統 図



北面

南面



特記なき配管配線及び立上げ下げの電線本数は系統図参照とする。

**株式会社 城取建築設計事務所**  
 〒396-0026 長野県伊那市西町5863番地1/TEL.0265(72)7271

図面を作成した建築士  
 一級建築士事務所登録  
 長野県知事登録  
 (伊那)M第7Y051号  
 酒井 優

図面を作成した建築士  
 一級建築士 大臣登録第344915号

凡例 備考

工事名称  
 令和7年度 美原防災スポーツセンター(仮称)建設 電気設備工事

図面名称  
 自動火災報知設備 平面図  
 SCALE  
 [A1]・1:100  
 [A3]・1:200  
 年月日  
 R7.3  
 No.  
 E-19

CAD FILE No. 51

Print out: 1p/5p